

第5回清瀬市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針検討委員会会議録

第5回清瀬市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針検討委員会が、令和2年3月9日16時30分に開催された。出席委員、会議の大要は次のとおり。

- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 令和2年3月9日(月)16時30分から |
| 2 場 所 | 清瀬市健康センター 第2会議室 |
| 3 出席委員 | 堀米 孝尚 (学識経験者)
高井 正 (学識経験者)
清水 一臣 (清瀬市立小中学校校長会 副会長)
山村 康一 (保護者の代表)
片岡 敦子 (公募市民) |
| 欠席委員 | 小池 雄志郎 (清瀬市立小中学校校長会 会長)
福島 崇子 (保護者の代表)
前田 ちひろ (公募市民) |
| 4 事務局 | 石川 智裕 (教育部長)
長井 満敏 (教育部参事)
細山 克昭 (教育総務課長)
山本 晋也 (教育総務課副参事)
鈴木 丈洋 (教育総務課庶務係長) |

5 次第

1. 開会

2. 報告事項

(1) パブリックコメントで出された意見と回答案 (資料1)

3. 協議事項

(1) 答申書案について (資料2)

6 配布資料

議事次第

資料1：「清瀬市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針(案)」に
対して提出された意見等の概要及び意見に対する市の考え方(案)

資料2：清瀬市立学校の適正規模・適正配置に関する基本方針答申書案

参考資料1：第4回検討委員会会議録

会議の大要

(開会)

【委員長】

次第2の報告事項、(1)パブリックコメントで出された意見と回答案について事務局より説明を。

【事務局】

(資料1についての説明)

現在は回答の案という形で内容は調整中のものであり、現時点での事務局の回答で記載している。

パブリックコメントは15人の方から意見が提出され、うち1人の方は必要事項が不記載のため受付対象外とした。

【委員長】

数分取るので内容を見ていただきたい。

意見をとりまとめたものについては事前にお送りいただいたが、現時点での回答案ということ。回答案に関して何かあればご発言を。

【委員】

回答は検討委員会として答えるのか、それとも市としての回答なのか。

【事務局】

検討委員会ではなく、教育委員会としての回答となる。

【委員長】

回答案をご覧ください、気になる点があればご発言をお願いしたい。

【委員】

夏の猛暑の中、小学生1年生がランドセルを背負って歩くのは困難と考えているので、教育委員会が通学距離の2kmをあくまでも上限値として示していること、通学路の安全性の問題も含めて建て替え時に検討する予定であると記されているので、具現化にあたって十分に現実を踏まえてもらっているので安心した。

【委員長】

あくまでも上限として、距離は短ければ短いほど良い。意見の中にも距離よりも時間を見てほしいとのコメントもある。検討委員会では視点という形での提示をさせていただいて、教育委員会はそれに基づいているのかなと思う。

【委員】

表現の問題だが、単に過ぎませんという表現は、ふさわしいのか。気にすることがないという風に聞こえてしまうのではないか。

【委員長】

指針として数字を提示しましたと理解していただいているかもしれないが、言葉の印象として良くないのかなというご意見です。

【委員】

実際 2km近くなってしまう場合は検討しなければならないとあるが、現実になった場合は具体的な対策を講じると受け取っていいのか。

【委員長】

通学距離数が長くないように検討したいという考えを示していると思う。

【委員】

申し訳ありませんという表現を使うのか。教育委員会が出すものなので、教育委員会の判断でいいのだが。

【委員長】

考えを示していませんという実態を述べればいいのか。

【委員長】

回答案に関しては、検討委員会で話し合ったことと全然違うなどがあるか見ていただき、意見をいただければと考えている。

次第3の協議事項、(1)答申書案について、事務局より説明を。

【事務局】

(資料2についての説明)

ご指摘に基づき、「はじめに」の部分の主語を修正。

総人口が減少局面に入りと修正。

通学距離の表現に「程度」を追加して修正。

【委員長】

様々な意見から答申書を作成するに至った。改めて各委員から意見はあるか。

【委員】

答申書に記載されている 4kmの通学距離のストレスなくという内容について、具体的な結果や根拠は、何か資料があるのか。

【委員長】

すでに今まで議論した中に出ていたかと思う。

清瀬は清瀬としての立地条件などもあり、清瀬にあったものとして書いてもらっている。資料の裏付けも必要なので、全国規模の 4kmという記載も入れていただいている。

【事務局】

4キロの根拠としては、第2回の資料の中で、文科省の引用と記載している。

【委員】

検討経過、委員名簿などを資料集などという形で入れておいた方が良い。答申だけが独り歩きしてしまう恐れがある。入れ込む予定なのか確認しておきたい。

【事務局】

入れ込む形で行いたい。

【委員長】

それでは、検討委員会として答申をしていきたい。よろしくお願いします。

10月3日から始まり、その中で熱心な意見交換をしていただきまして、答申書を作成することができました。

以上を持ちまして清瀬市立学校の適正規模適正配置に関する基本方針 検討委員会を閉会します。

ありがとうございました。

(委員長が閉会を宣言)

閉会 17時 05分